

2025年12月10日

関東鉄道株式会社

警察・消防と合同で  
**異常発生時想定訓練を実施**  
踏切で乗用車と衝突、列車脱線事故を想定

[昨年実施した訓練の様子]



消防による乗客の救出



脱線車両の載線作業

踏切内で列車と乗用車の衝突事故現場を再現

関東鉄道株式会社(本社:茨城県土浦市 取締役社長:登嶋 進)では、12月18日(木)、常総線の水海道車両基地(茨城県常総市)にて「異常発生時想定訓練」を実施いたします。

この訓練は、事故・災害が発生した際、お客様の安全を確保し、速やかに運転を再開できるよう、運転士・駅係員・運転司令員・車両及び施設整備員の各セクションの社員、常総警察署、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部のそれぞれの担当者計約50人が連携し、実践的に行うもので、毎年年末に実施しております。今回は「踏切で乗用車と衝突して列車が脱線する事故」が発生し、乗客の避難誘導では車椅子のお客様が含まれることを想定して実施いたします。

詳細は次のとおりです。

## 記

1. 日 時 2025年12月18日(木)13:30~16:00 ※荒天延期
2. 会 場 常総線 水海道車両基地(小堀駅～水海道駅間)  
住所:茨城県常総市水海道高野町 351-1(ポリテクセンター茨城近く)
3. 目 的 異常発生時に適切かつ迅速に対応できるよう、実践的な訓練を実施し、連絡体制・お客様の避難誘導・復旧体制の強化を図ります。また、職種ごとに必要な知識・技能・基本動作を再確認し、輸送の安全確保に向けた意識の一層の向上を目指します。
4. 訓練内容
  - ・「列車が走行していたところ、運転士は、踏切 50m手前で乗用車が当該踏切に進入してくることを確認し、直ちに非常気笛と共に非常制動を執ったが間に合わず、衝突、停車した。乗客10名のうち1名が負傷、列車は前方車輪が脱線、乗用車ドライバーは意識不明の重体、復旧には相当の時間を要する」ことを想定
  - ・事故発生時の連絡通報及び警察・消防との連携、車椅子の方を含む乗客の避難誘導、脱線車両の載線、踏切補修、線路復旧並びに報道機関との対応ほか
5. 参 加 者 当社社員及び警察・消防機関担当者など約50人

以 上